

豊かな心と感性育てる

新宮市 城南中学校で文化庁巡回公演



楽しく演技に取り組んだ河村伯空君 = 5日、新宮市立城南中学校



緊張しながらも明るく演技する西侑来さん

新宮市立城南中学校(中田善夫校長、生徒179人)で5日、文化庁巡回公演があった。劇団前進座(東京都)を招き、生徒らは楽しいひとときを過ごした。

文化庁が「文化芸能による子どもの育成事業」として小中学校で実施している。文化芸術団体の公演を地方でも鑑賞、体験する機会を確保し豊かな感性を育むことを目的にしている。同校では公演に向け10月16日、3年生65人を対象とした事前の学習会(ワークショップ

プ)が行われた。この日はエコの問題と江戸の人情を絡ませた芝居『くずくしい屑屋でござい』が上演され、3年生の河村伯空君と西侑来さんが演技に参加した。

生徒らは笑ったり拍手をしたりと、劇団員が演じる芝居を満喫した。出演した河村君は「本格的な劇を見たことはなかったけど、緊張せず楽しかったです」と感想。西さんは「すごく緊張した。恥ずかしかったけど、練習の時より上手にできて楽しめました」。

芝居の中で流行語などを織り交ぜたりして、分かりやすく笑わせてもらいました」と話した。閉会のあいさつでは中

田校長が「江戸時代にタイムスリップをしたようで素晴らしい劇に引き込まれました。前進座の方々に来てもらい『舞台

とは何か』を教えていただいたことに感謝します」と話していた。

(榮本康人)